

・子宮頸がん予防について

・公立中学校部活動の地域移行について

・熊対策について



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

1 項目目は、子宮頸がん予防についてです。女性特有のがんである子宮頸がんは、日本では毎年、約1万人が子宮頸がんと診断され、約3000人ものがんが亡くなっています。他のがんと比べて、若い女性に多いのも特徴ですが、「予防できる唯一のがん」とも言われています。予防には、異常を早期に発見し、早期治療につなげるための定期的な検診と、HPV ワクチン接種があります。いずれも予防に有効であることから、推進は重要であります。そこで、本市の検診の受診状況や、HPV ワクチン接種の推進について質問しました。

2 項目目は、公立中学校部活動の地域移行についてです。2023 年度から段階的に進められている地域移

行は、まずは、休日の部活動から移行を進め、将来は平日の指導も地域に委ねることを目指すとしています。部活動のあり方を大きく転換するものであり、学校や地域の実情を踏まえて進めることが重要ですが、これまでの推進状況や今後の計画について質問しました。

3 項目目は、熊対策についてです。全国で熊の出没が急増し、人身被害が相次いでいます。本市の出没状況や対策について、そして、今後の取り組みについて質問しました。

・市内公共交通の全面的見直しについて

・障害者福祉の推進について

・安中市移住・定住アクションプランの検証について

公共交通は、通勤通学や通院・買い物など日常生活において利用しやすい運行が求められています。しかし、市民からは、利便性と運行ルートの悪さが指摘されています。来年3月から市内全域でAI 新交通が運行されることから、公共交通の全面的見直しの取り組み状況について質問しました。

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、各種サービスを円滑に利用しながら、自立した生活ができる環境整備が必要であります。障害者を持つ保護者は、親亡き後の日常生活を心配し不安を抱えていますので、障害者福祉の推進について質問しました。

人口減少は、地域の構造や人と人

とのつながりなど暮らし方に影響を及ぼし、地域経済や地域コミュニティの縮小、行政サービスの低下などが懸念されます。人口減少に歯止めを掛けるためには、移住定住促進が求められていることから、安中市移住・定住アクションプランの取り組み状況について質問しました。



来年3月から運行予定のAI 新交通



清風クラブ
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之



詳しい内容は
こちら